

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-66158

(43)公開日 平成6年(1994)9月16日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 M 11/00

H 0 4 Q 9/00

識別記号

3 0 1

3 0 1 D

庁内整理番号

7470-5K

7170-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-13622

(22)出願日 平成5年(1993)2月12日

(71)出願人 592018685

株式会社ウインズ

静岡県沼津市米山町2番24号

(72)考案者 堀内 彰二

静岡県沼津市杉崎町1番3号

(72)考案者 大八木 靖人

静岡県沼津市三枚橋町13番2号川村三枚橋

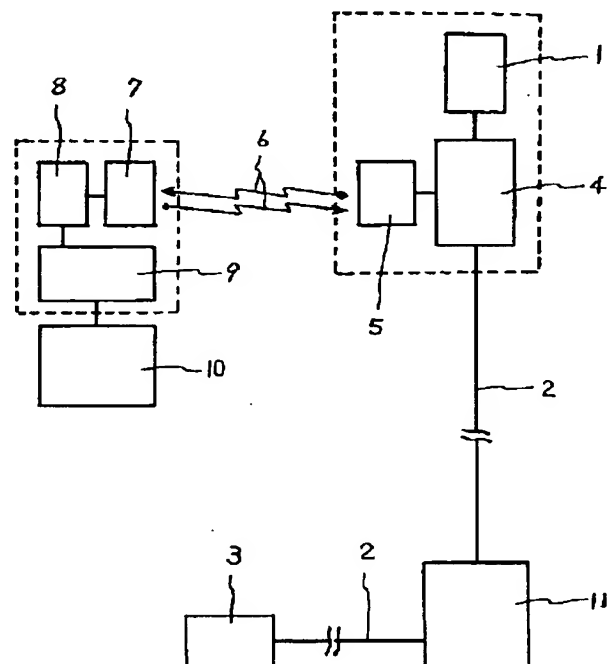
マンション N34

(54)【考案の名称】 電話回線利用のテレビ録画時間予約装置

(57)【要約】

〔目的〕 外線電話器から自宅の電話器に録画時間予約信号を送り、自宅に設置してあるビデオ装置及びテレビ受像機を予約指定時間に作動させる。

〔構成〕 電話器1が接続される電話回線2に接続され、かつ、電話回線2を利用して外線電話器3から入力される録画時間予約信号(Gコードなど)に応じて作動する予約信号発受信装置4と、予約信号発受信装置4により、録画時間予約信号に対応した識別赤外線6を発受信する赤外線通信装置5と、その識別赤外線6を発受信する赤外線通信装置7と、その赤外線通信装置7からの入力信号によりテレビ受像機10に接続されたビデオ装置9を予約指定時間に作動させる録画予約時間回路8により構成したことを特徴としている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 電話器 1 が接続される電話回線 2 に接続され、かつ、電話回線 2 を利用して外線電話器 3 から入力される録画時間予約信号（Gコードなど）に応じて作動する予約信号発受信装置 4 と、予約信号発受信装置 4 により録画時間予約信号に対応した識別赤外線 6 を発受信する赤外線通信装置 5 と、その識別赤外線 6 を発受信する赤外線通信装置 7 と、赤外線通信装置 7 からの入力信号によりテレビ受像機 10 に接続されたビデオ装置 9 を予約指定時間に作動させる録画時間予約回路 8 とにより構成したことを特徴とする電話回線利用のテレビ録画時間予約装置。

【図面の簡単な説明】

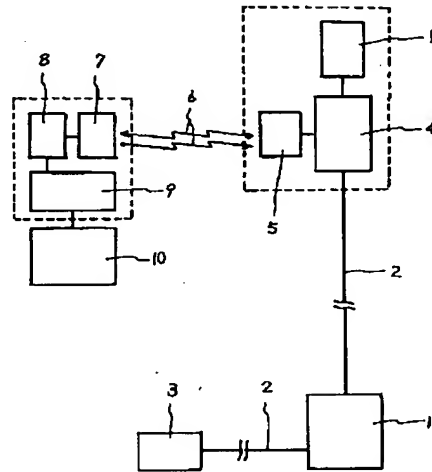
2

【図 1】 本考案の構成を示す 1 実施例である。

【符号の説明】

- 1 電話器
- 2 電話回線
- 3 外線電話器
- 4 予約信号発受信装置
- 5 赤外線通信装置
- 6 識別赤外線
- 7 赤外線通信装置
- 8 録画時間予約回路
- 9 ビデオ装置
- 10 テレビ受像機
- 11 電話交換局

【図 1】



【考案の詳細な説明】

[0001]

[産業上の利用分野]

本考案は、外出時に外線電話器を利用して自宅に設置してあるビデオ装置の録画時間予約回路に録画時間予約信号を送信することにより、テレビ受像機に接続されるビデオ装置に録画時間の予約をするテレビ録画時間予約装置に関する。

[0002]

[従来技術]

従来、ビデオ装置に録画時間の予約をする場合は、録画時間予約のためのパネルに設置された操作ボタンや操作ツマミ等を直接操作することにより、ビデオ装置の録画時間予約回路に予約信号を入力していた。

[0003]

また、ビデオ装置を自宅の電話器が接続される電話回線に接続し、外線電話器を利用して録画予約識別信号（Gコードなど）を直接ビデオ装置に送信することにより、外出時においてもビデオ装置に録画時間を予約できる手段も開発されている。

[0004]

[考案が解決しようとする課題]

従来の直接操作する予約手段は、外出時に録画時間を予約することは不可能であり、電話回線を利用し有線送信によりビデオ装置を直接作動させる手段は、未だ商品として完成されていないが、この手段の試行は、ビデオ装置を電話と同一の電話回線に接続することを意図しているので、機器相互間の配線が複雑化して故障が起こりやすくなり、また、ビデオ装置の録画時間予約回路には録画時間予約信号（Gコードなど）だけでなく、電話器に入力する音声信号が入るので、誤作動が発生しやすい欠点がある。

[0005]

[課題を解決するための手段]

本考案は、予約信号発受信装置を電話器が接続される電話回線に接続し、予約信号発受信装置とビデオ装置は録画予約時間に対応した識別性を有する識別赤外

線により無線接続するものである。即ち、電話器が接続され、かつ、電話回線を利用して外線電話器から入力される録画時間予約信号（Gコードなど）に応じて作動する予約信号発受信装置と、予約信号発受信装置により録画時間予約信号に対応した識別赤外線を発受信する赤外線通信装置と、その識別赤外線を受発信する赤外線通信装置と、赤外線通信装置からの入力信号によりテレビ受像機に接続されたビデオ装置を、予約指定時間に作動させる録画時間予約回路とにより構成したことを特徴とする電話回線利用のテレビ録画時間予約装置である。

[0006]

[作用]

図1により作用を説明する。外線電話器3より送信した録画時間予約信号（Gコードなど）は、電話回線2を通じて電話交換局11を介して自宅に設置してある予約信号発受信装置4に送られる。録画時間予約信号は符号化されていて、各時間に対応するように識別性を有し、予約信号発受信装置4はこの録画時間予約信号により作動するように構成される。録画時間予約信号を受信した予約信号発受信装置4は、入力信号に対応した予約信号を赤外線通信装置5により識別赤外線6として発信する。

[0007]

この識別赤外線6は、予約信号発受信装置4から離れた位置に設置してある赤外線通信装置7により受信され、更に、テレビ受像機10に接続されたビデオ装置9の録画時間予約回路8に入力される。即ち、録画時間予約回路8は、赤外線通信装置7が予約時間に対応した識別赤外線6を受信した時だけ作動し、所定の予約時間を記憶する。

[0008]

[実施例]

図1は本考案の1実施例を示し、特定する自宅の電話器1及び外線電話器3は共に通常の電話器と同様に、電話交換局11を介して電話回線2により接続される。この電話器1の電話交換局11側の電話回線2に予約信号発受信装置4を接続する。電話回線2を利用して外線電話器3から電話器1に対して録画時間予約信号（Gコードなど）が送信されると、予約信号発受信装置4はその入力信号に

より作動する。この予約信号発受信装置4は、作動した時、入力した録画時間予約信号（Gコードなど）に応じて識別性を有する識別赤外線6を発受信する赤外線通信装置5を接続する。

[0009]

一方、赤外線通信装置5から発信された識別赤外線6を受信させるために、赤外線通信装置5から発信される識別赤外線6が到達する方向及び位置に、赤外線通信装置7を設置する。この赤外線通信装置7は、テレビ受像機10に接続されたビデオ装置9を、予約指定時間作動させる予約時間信号を出力する録画時間予約回路8に接続される。

[0010]

予約信号発受信装置4、赤外線通信装置5は、取扱を容易にするため点線図示の如く電話器1内に収納してもよく、また、赤外線通信装置7、録画時間予約回路8、ビデオ装置9も点線図示の如く同一筐体に収納してもよい。

[0011]

[考案の効果]

本考案は、外線電話器を利用して、自宅に設置してある予約信号発受信装置に録画時間予約信号を送信し、予約信号発受信装置を作動させることにより、外出先から自宅に設置してあるビデオ装置及びテレビ受像機を予約指定時間に作動させることができるので、極めて便利である。また、外線電話器により作動する予約信号発受信装置と、ビデオ装置に接続される録画時間予約回路は、録画時間予約信号に対応した識別性を有する赤外線により無線接続されるので、電話器とテレビ受像機、ビデオ装置などの機器との連鎖故障の発生を防止できる。